

2014年
01月 02月 03月 04月 07月 08月
09月 10月 11日 12日
2013年
01月 02月 03月 04日
05日 06日 07月 08日
05日 06日 07日 08日
05日 06日 07日 08日
05日 06日 07日 08日
05日 06日 07日 08日
09月 10月 11月 12月
日記の使用状況
4.0MB/2000.0MB

テイスティ高橋 🔻





前の写真の道路(七本松通)をさらに進み、振り返る。道路左側に慈眼寺庫裡、住居、本堂、墓



七本松通から「出水通」に曲がる。写真左端が慈眼寺



テイスティ高橋 🔻



慈眼寺表門。11時10分ころ入る





庫裡右奥の玄関から、靴を脱いで上がり、右側の座敷には、奥野さんほか、神沢家子孫夫妻、 奥野さんの研究チーム?などが、すでに居らした。

挨拶を交わし、やがて入江家子孫夫妻が到着された。

淡々とした挨拶が続く。しばし両家の元禄時代以後の会話が続き、全員で神沢家の墓に向かい お参りする。

墓前で記念撮影する。真ん中の神沢杜口の墓を挟んで、前列右側が神沢家子孫夫妻で、左側 が入江家子孫夫妻。後列左端が、関西大学文学部の与謝蕪村研究の藤田名誉教授

mixi □ミュ=ティ ▼ 検索 Q

テイスティ高橋 🔻



墓地には神沢家の歴代の墓石が点在する。この墓石は、杜口の子供と孫らしい



最も古いと思われる杜口の祖父「宜茂(よししげorよしもち)」の墓石。表面がボロボロに剥落していて、カケラを拾い集めて初めて宜茂のものと判った。上の手は自分。下の手は杜口子孫の奥様の手



mixi

コミュニティの後「対象素通」に出て、奥野さんが予約された寿司屋の一室で会食となった。

テイスティ高橋 🔻

神沢家子孫夫妻から引出物(お菓子、ちりめん山椒)までいただき、順次解散。

入江家子孫夫妻のご希望により、昨年、自分が特定した入江家屋敷跡に案内する。

その後、近くの喫茶店で奥野さんより詳しいお話を聞く。

入江家に伝わった翁草が、昭和63年に杜口自筆本(原本)と認定されていたが、その後、入江 家に死蔵されたままで忘れられていた。今回、入江家より再発見された。

翁草の杜口自筆本(原本)認定根拠となった蔵書印



活字本に記されている「本阿弥光正」は、原本では「本阿弥光二」ではないか?との予測をした のだが、入江家に死蔵されていた翁草杜口自筆本には、やはり欠本があり、その部分は、入江 さんの記憶では欠本くさいとのこと(-\_-;)

そうしたら藤田教授が、関西大学にある翁草の写本3種を見せてくれるとのことで、ある程度の 確認はできそうな感じで救われた。年が明けたら早々に確認したい。

実に不思議なことに、神沢家の菩提寺は慈眼寺で、入江家の菩提寺は東山の妙伝寺なのだ が、両方の寺で全く同じ戒名の墓石が3つあるとのこと。

これはどういうことなのか? 互いの菩提寺に分骨したのか? 奥野さんも首をかしげていた!

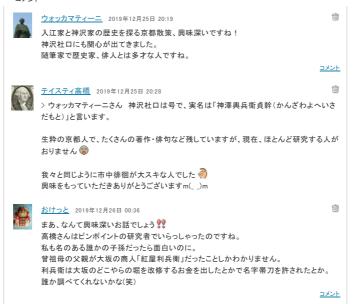
奥野さんと別れ、仙ちゃんさんと地下鉄「二条」駅から「烏丸御池」駅で下車。いつも行く駅地下 の「元気市場」で、一献 6個 6個 傾けながら今日の話で盛り上がる。

7時頃、お開きとし、烏丸御池駅から二条駅でJRに乗り換え「花園」駅で下車。スーパー・マツモ トに寄り、我が庵に入った。

コメント

イイネ! (16) <u>Gu! chon Kuri まれびと 長老 ポンム・ド・テール</u> 鏡ねこ <u>のつのつ</u> こねこうどん AIR Kei RONKORON

コメント







<u>日記を書く</u>
テイスティ高橋の日記一覧へ

このページの上部へ

 mixiについて
 運営者からのお知らせ
 mixiプレミアム
 サービス一覧
 機能要望
 スマホからの利用
 利用規約
 お問い合わせ

 モンスト
 子供の写真・動画を共有
 美容室予約

運営会社 プライバシーポリシー 健全化の取り組み 開発者向け情報 人材募集 転職サイト

Copyright (C) 1999-2020 mixi, Inc. All rights reserved.